

地球運轉儀盤面諸器之取仕組順圖

下

特67

287

056173-000-3

特67-287

地球運轉儀盤面諸器之取仕組順圖

〔出版事項不明〕

CAK-0056

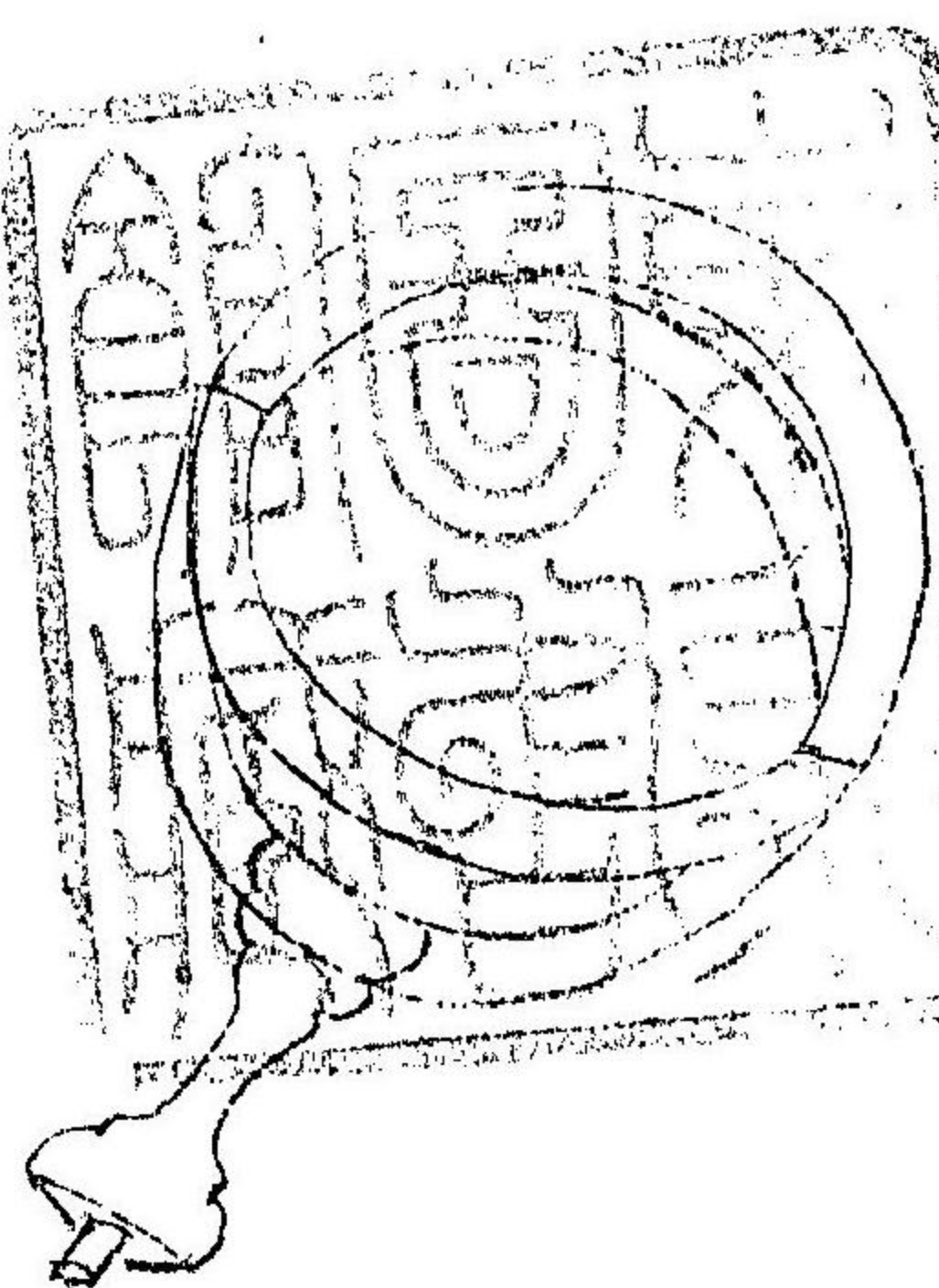


地球運轉儀盤面諸取仕組順圖

一盤

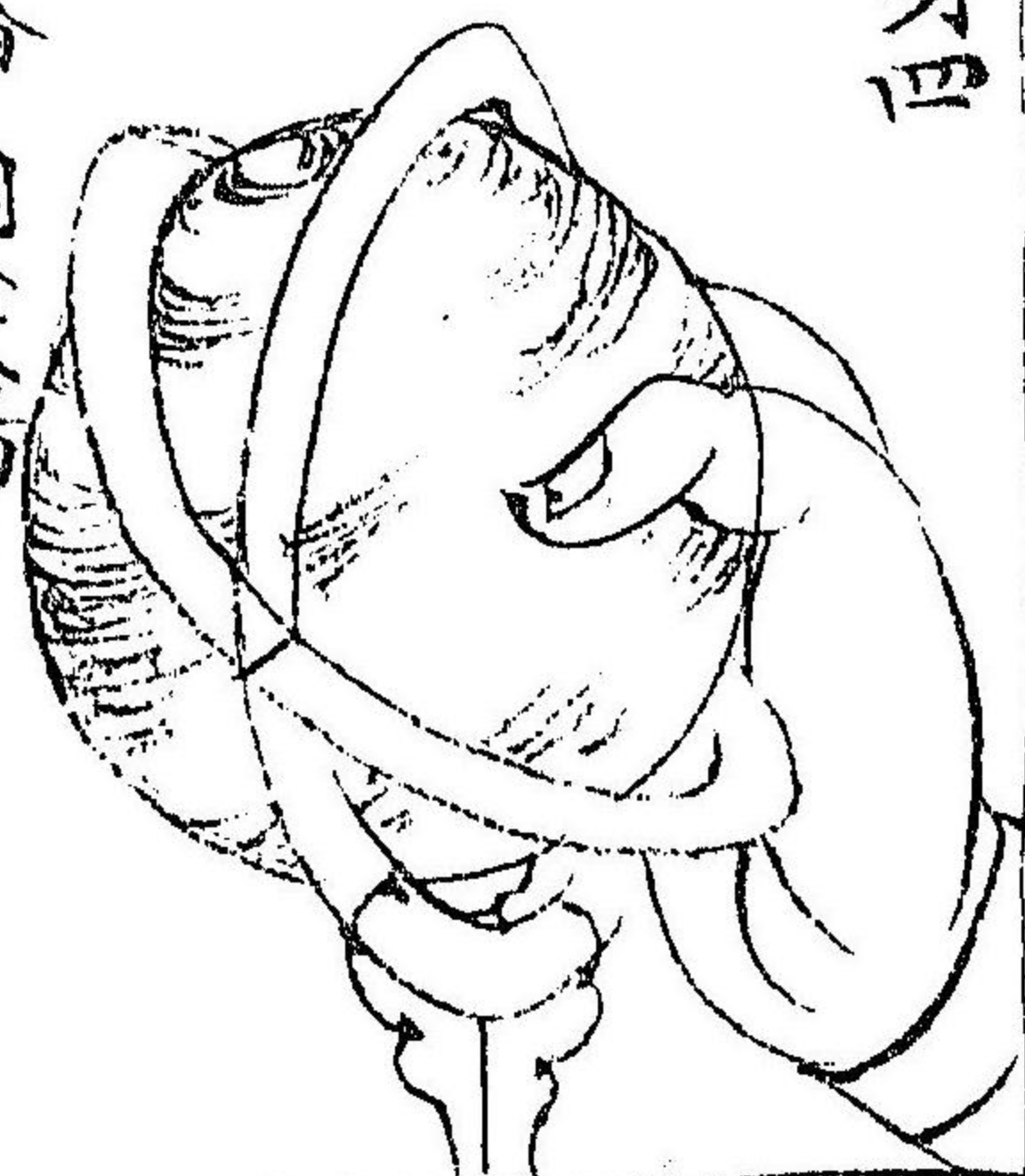
第一

太陽光線ノ輪



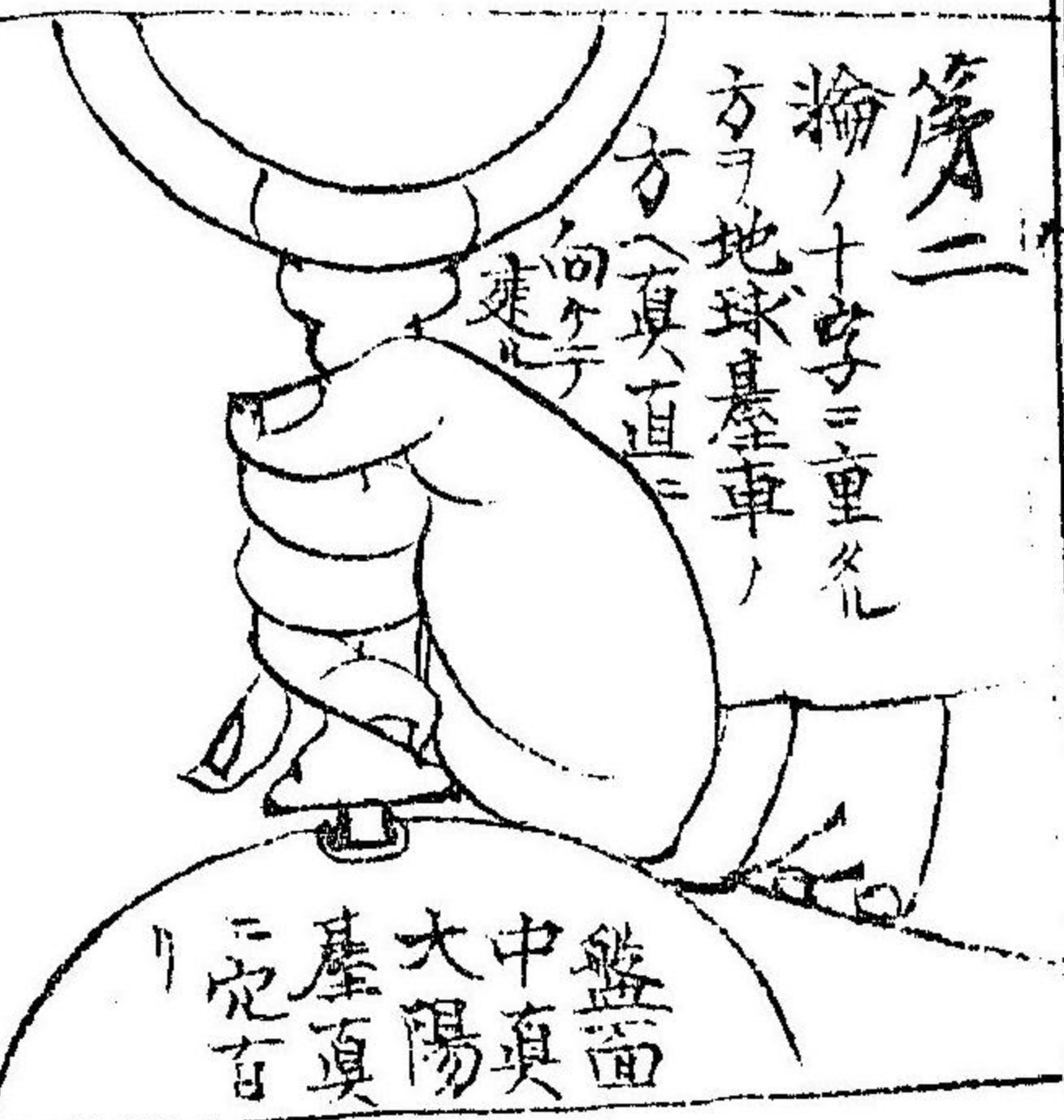
第四

地球ノ内ノ太陽ヲ
遠ル圖



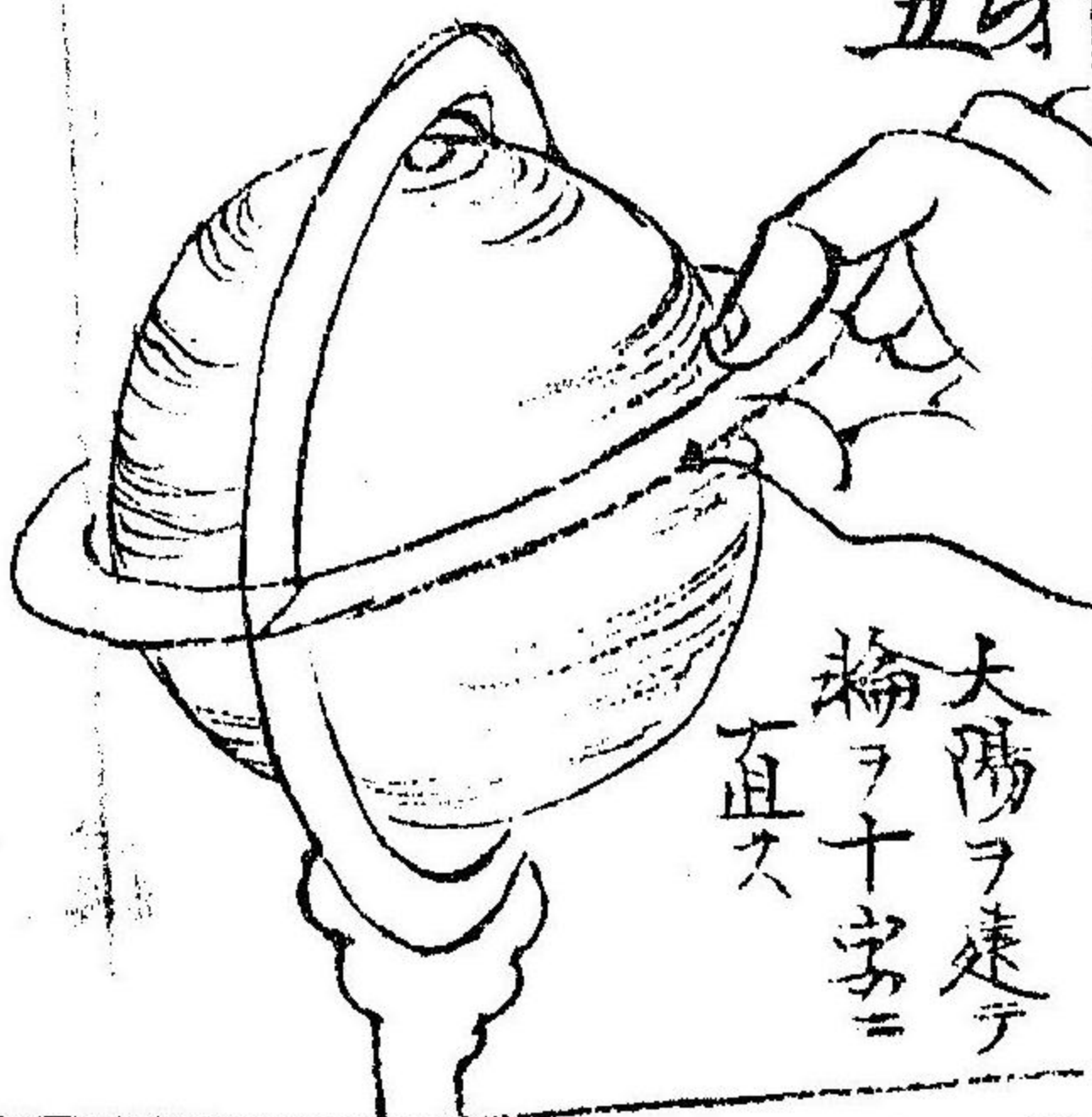
第二

輪ノ十字ニ重ル
方ヲ地球基車ノ
方ニ真直ニ
向ケテ



第五

太陽ヲ遠テ
輪ヲ十字ニ
直ス

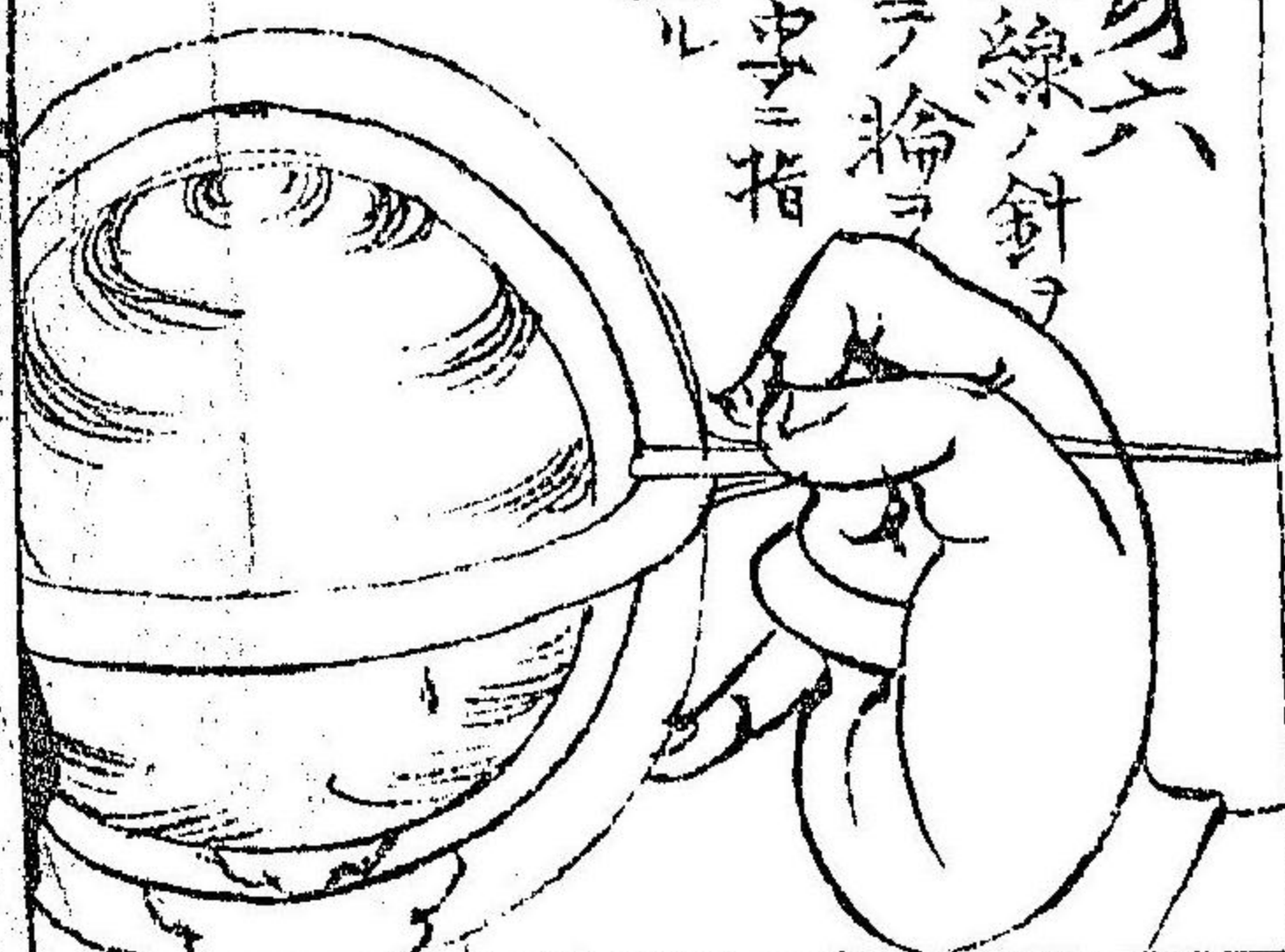


第三
太陽ナリ



第六

光線ノ針ヲ
以テ輪ヲ
十字ニ指
ス

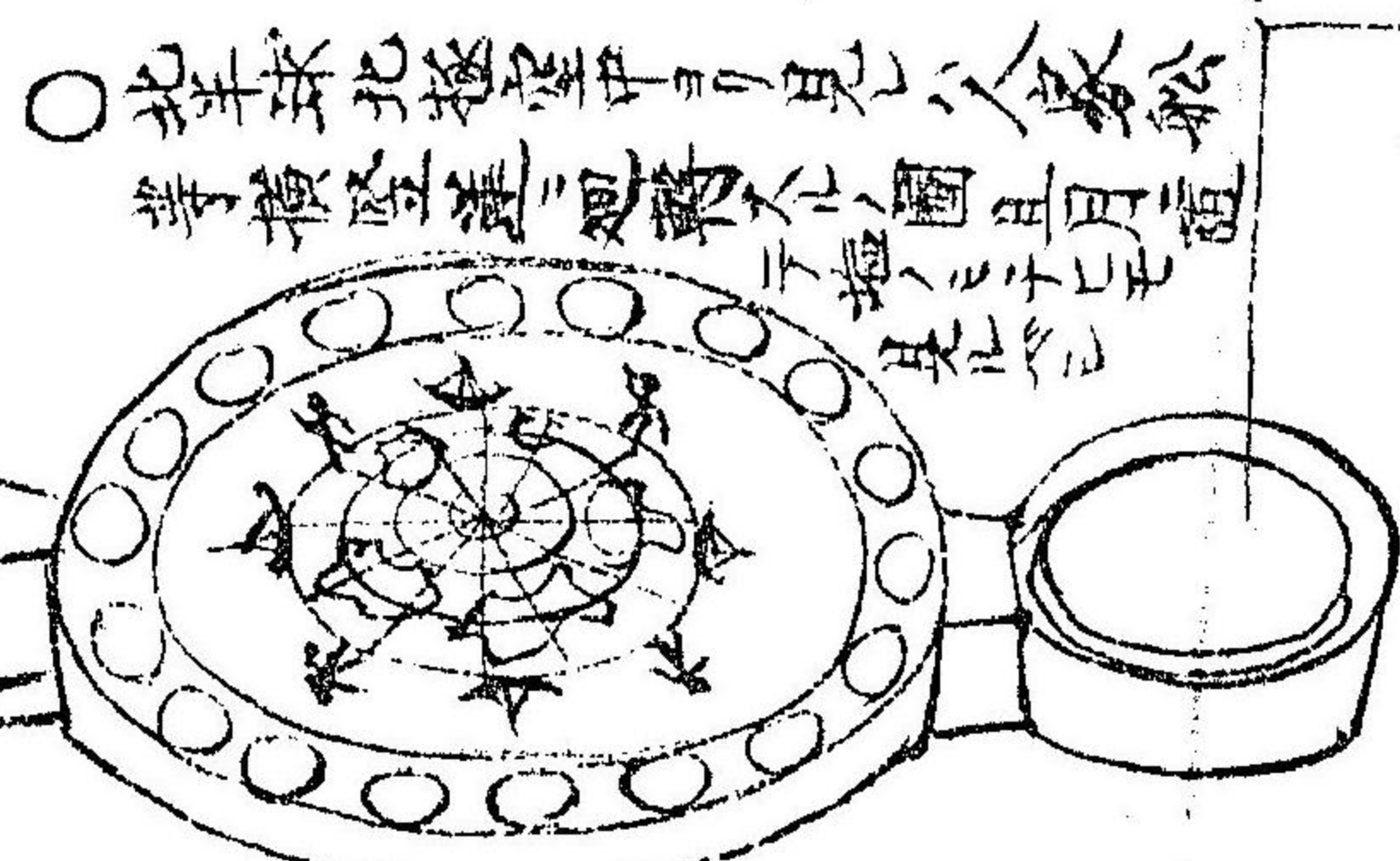


第七大陽全備ノ圖

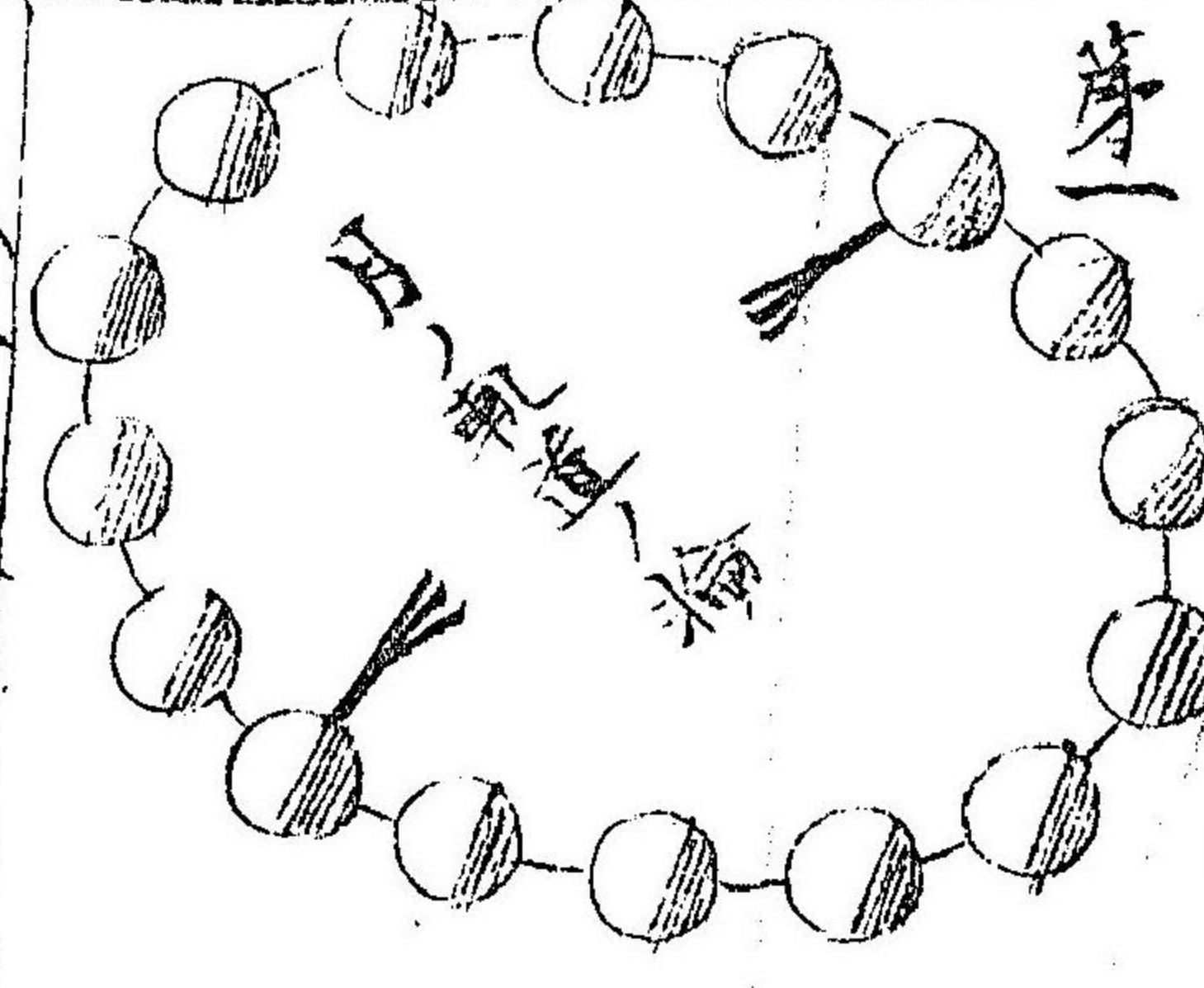
○地球一昼夜自轉スルノ間三月ハ太陽滿
 十度余ツ進テ地ノ外面ヲ公運ス故ニ
 地球二十九回セツルハ月地ヲ一周ス又故ニ
 新月ヨリ滿月マテハ宵ノ中ニ月ノ光ヲ
 見シ居下夜ヨリハ夜ノ土時ヲスガカレハ
 月光ヲミル
 カタキ沃ハ此
 圖ノニミテ分
 明ナリ
 ○僅ニ新月ハ
 必ス西ノ下空
 ニ出テ滿月ハ
 必ス東ノ上空
 ニ出テナリ

○地球北極星ノ一ノ星ノ公
 轉ノ軌道ノ圖ニ示シ
 地球ノ公轉ノ軌道
 地球ノ自轉ノ軌道

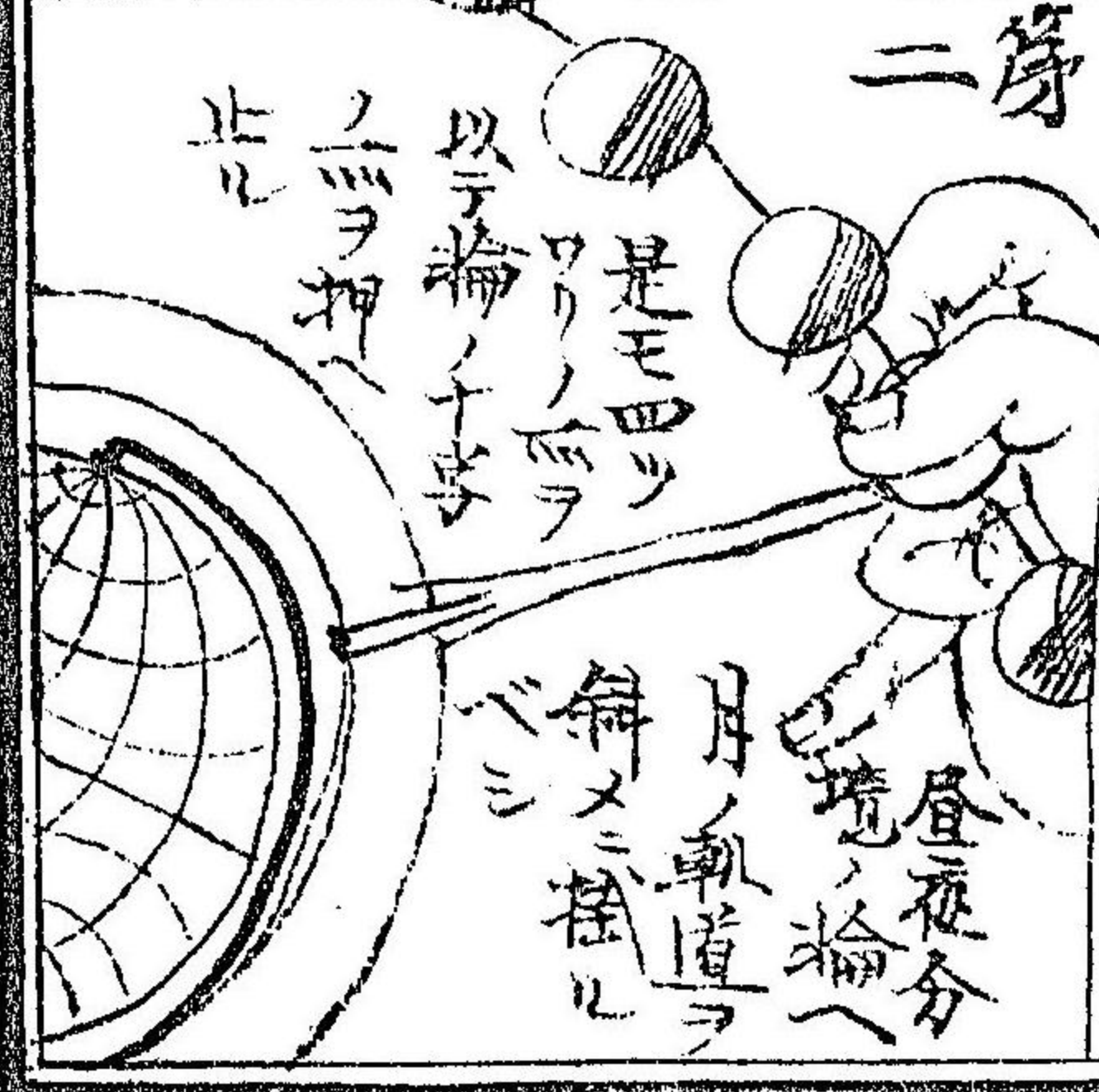
地球儀ノ基車ナリ



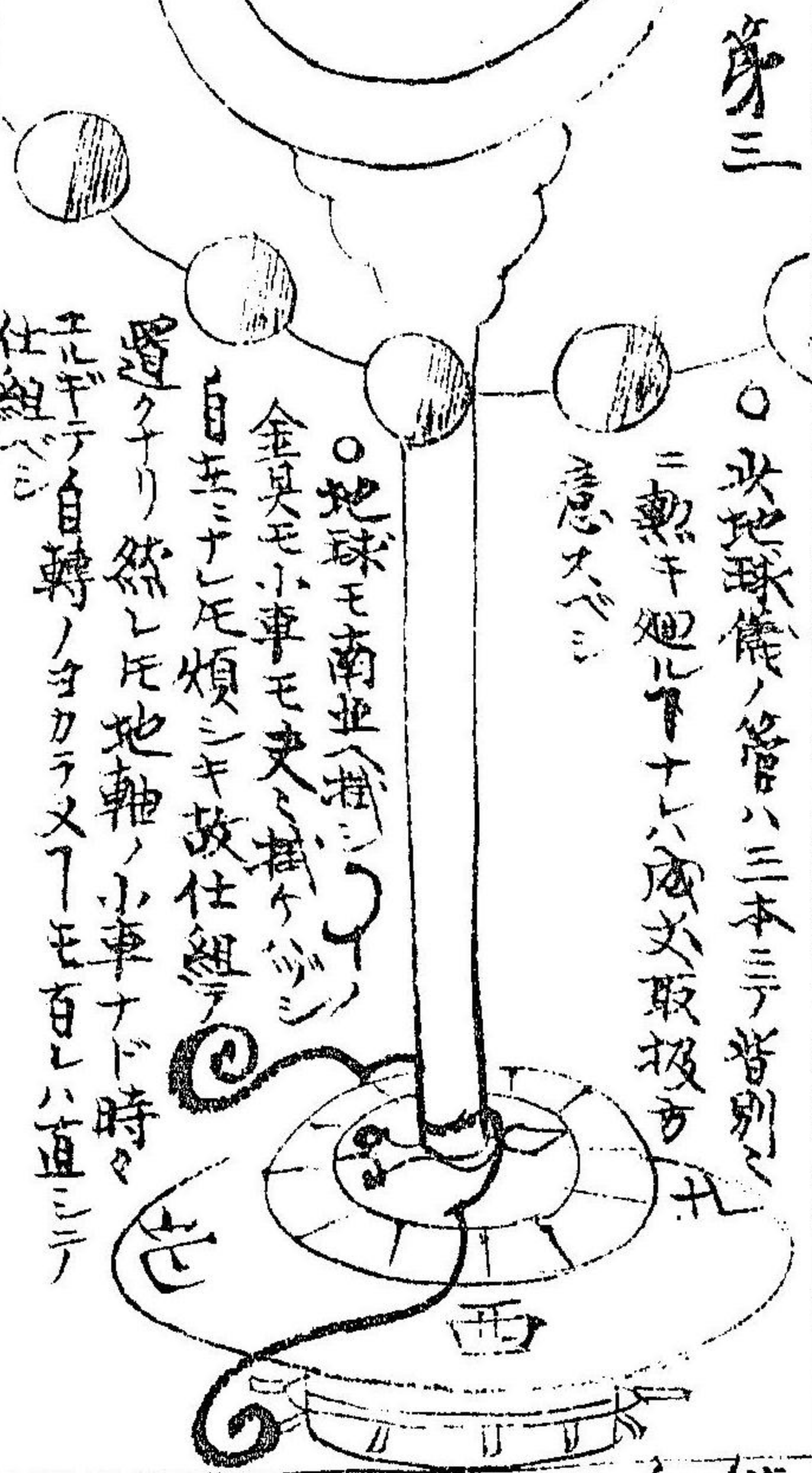
第一



第二

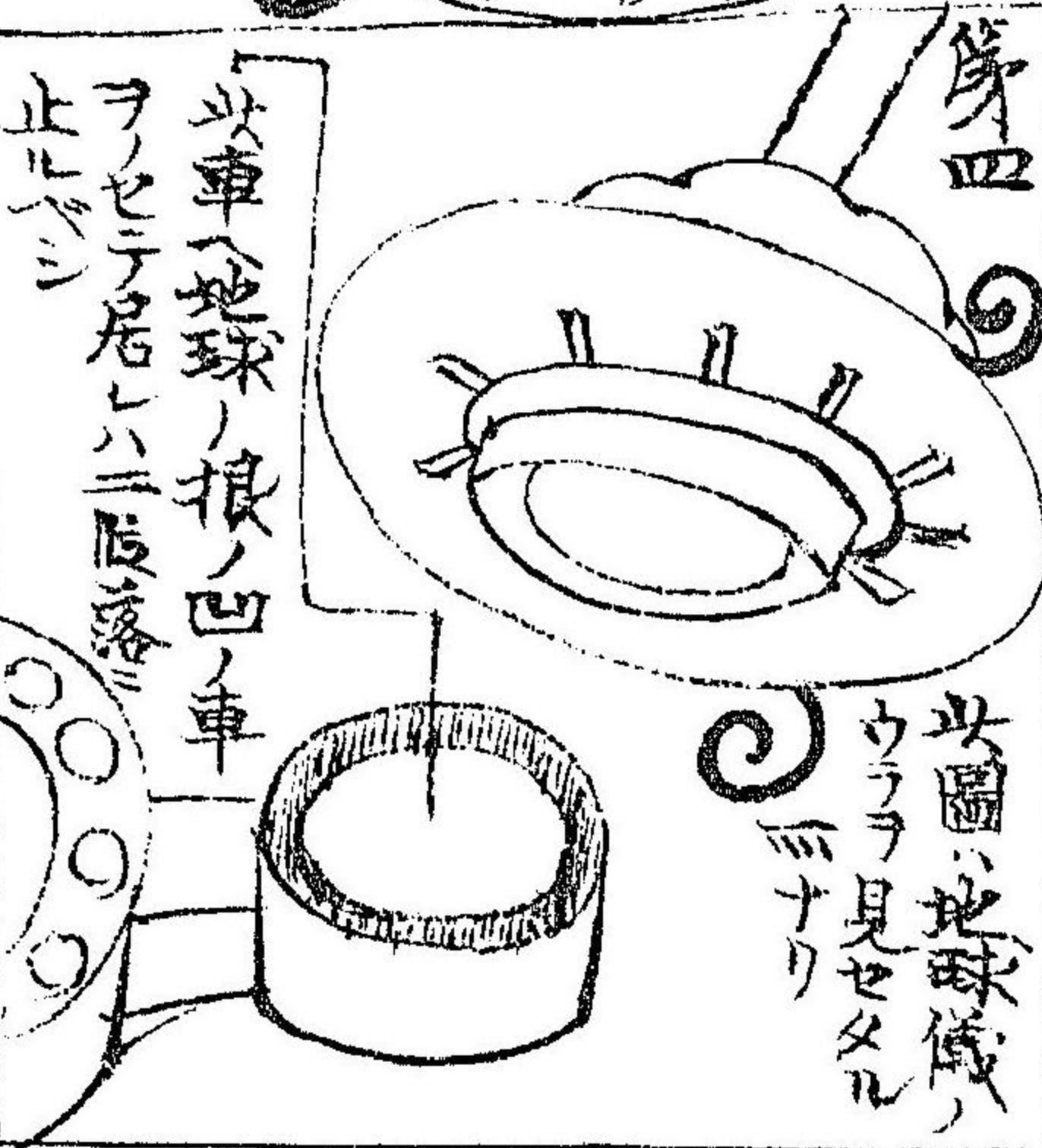


第三



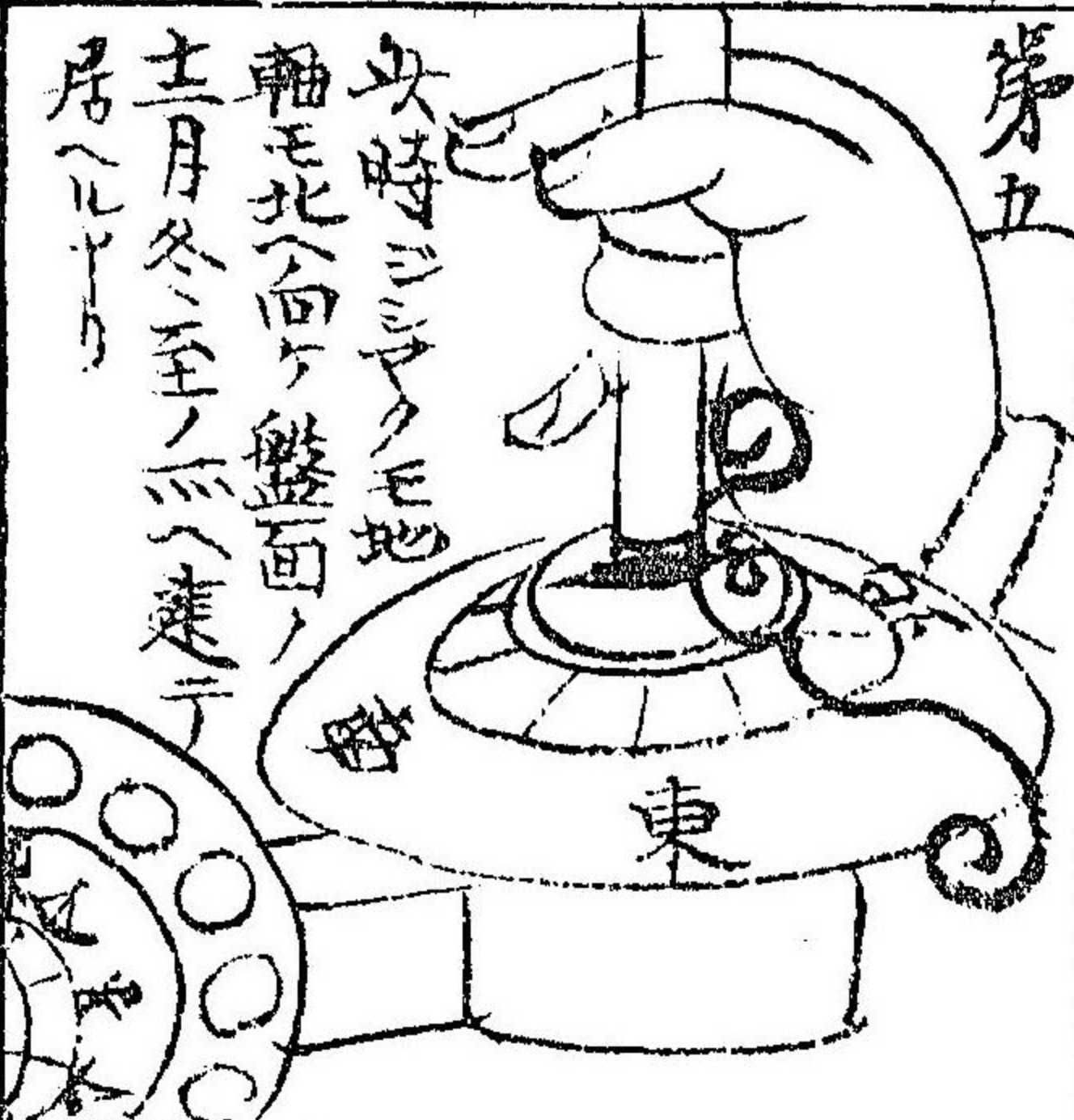
○地球儀ノ管ハ二本ニテ皆別
 ニ動キ廻ルナラバ成ク取扱方
 注意スベシ
 ○地球ヲ南極ニ掛シ
 金具モ小車モ支テ掛ケル
 自轉ニ任ズル煩キ故仕組テ
 置キテ然レハ地軸ノ小車ナド時々
 止テ自轉ノ力ヲメテモ直ニテ
 仕組ビシ

第四



○地球儀ノ
 軸ヲ見セタル
 此圖ノ地球儀ノ
 軸ヲ見セタル
 此圖ノ地球儀ノ
 軸ヲ見セタル

第五



○地球儀ノ
 軸ヲ見セタル
 此圖ノ地球儀ノ
 軸ヲ見セタル

第六

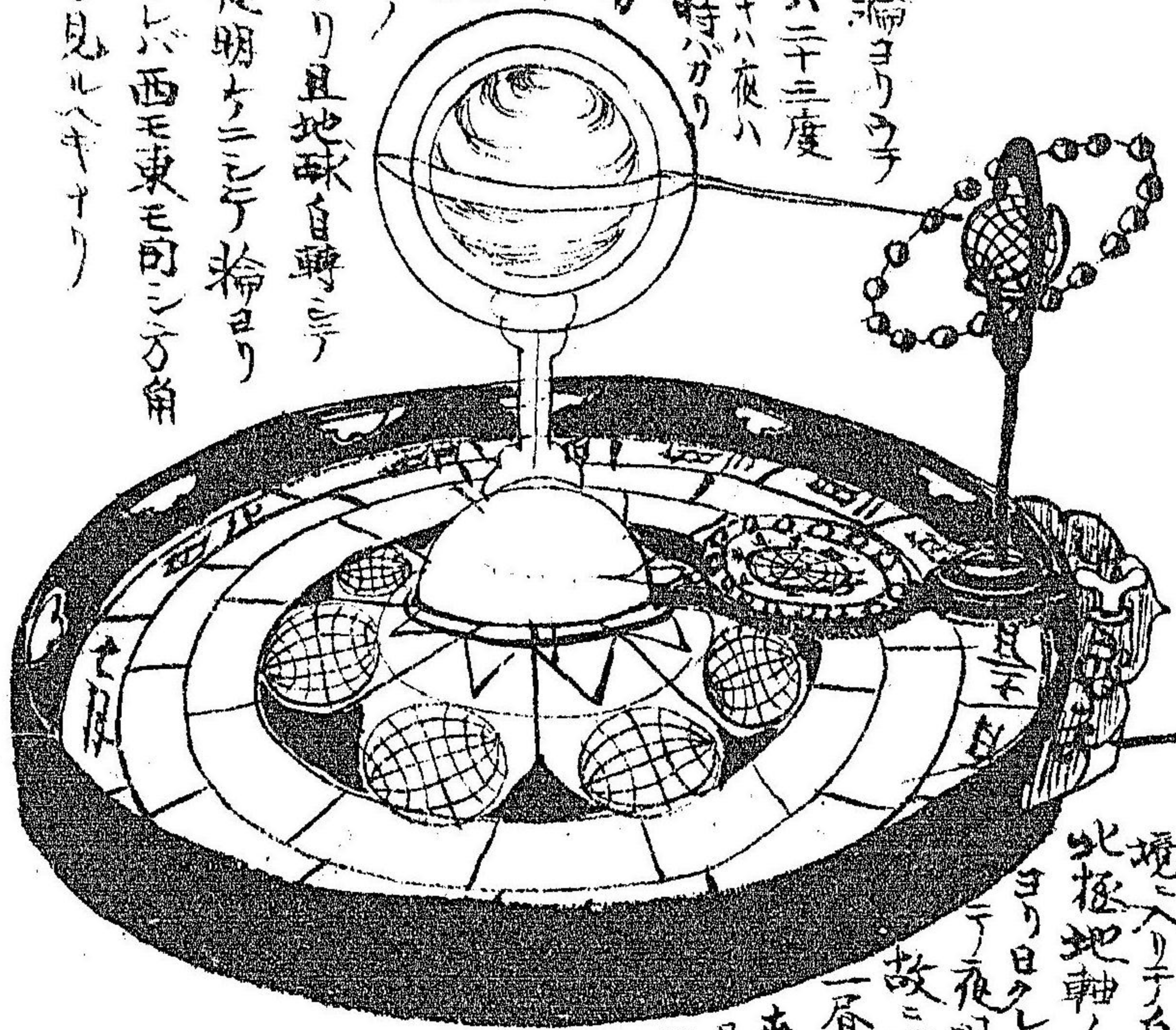


○地球儀ノ
 軸ヲ見セタル
 此圖ノ地球儀ノ
 軸ヲ見セタル

第七

本盤全備圖

地球太陽に向ク方ヲ昼トシテ論ヨリテ
 ノ方ヲ夜トスルナリ此時地軸ハ二十三度
 半北へ斜メタル故我日本ノ如キハ夜ハ
 十五時ホド有テ昼ハワツカニ九時ハカリ
 ナルヲ知ル故ニ昼夜ノ長短分
 明ナリ且太陽ノ光線ハ南半
 球冬至線ノ六指故南赤道ノ
 ノ諸國ハ夏ヲナシテ北赤道ノ
 諸國ハ冬ナルナリ知ルキナリ且地球自轉ニテ
 昼夜分境ノ論ヨリ出ル時ハ夜明トニシテ論ヨリ
 入ル時ハ日暮ナリ太陽動カサレ西モ東モ同シ方角
 ナルヲ能ク心シテ廻シ見ルキナリ



地球ハ二十三度半夜分
 境ニ入りテ自轉スル故ニ
 北極地軸ノ諸國ハ九月
 ヨリ日クシテ至テ三月始
 テ夜明ケルニム
 故ニ各年ヲ以テ
 一昼夜ナリ且
 南極ノ地軸ハ
 是ニ反シテウ
 テハ三月ノミ
 廻シテ知ル
 キナリ

蓋底 筋達 順圖

是モ太陽ナリ
 本盤ノ仕組ミト
 同シ

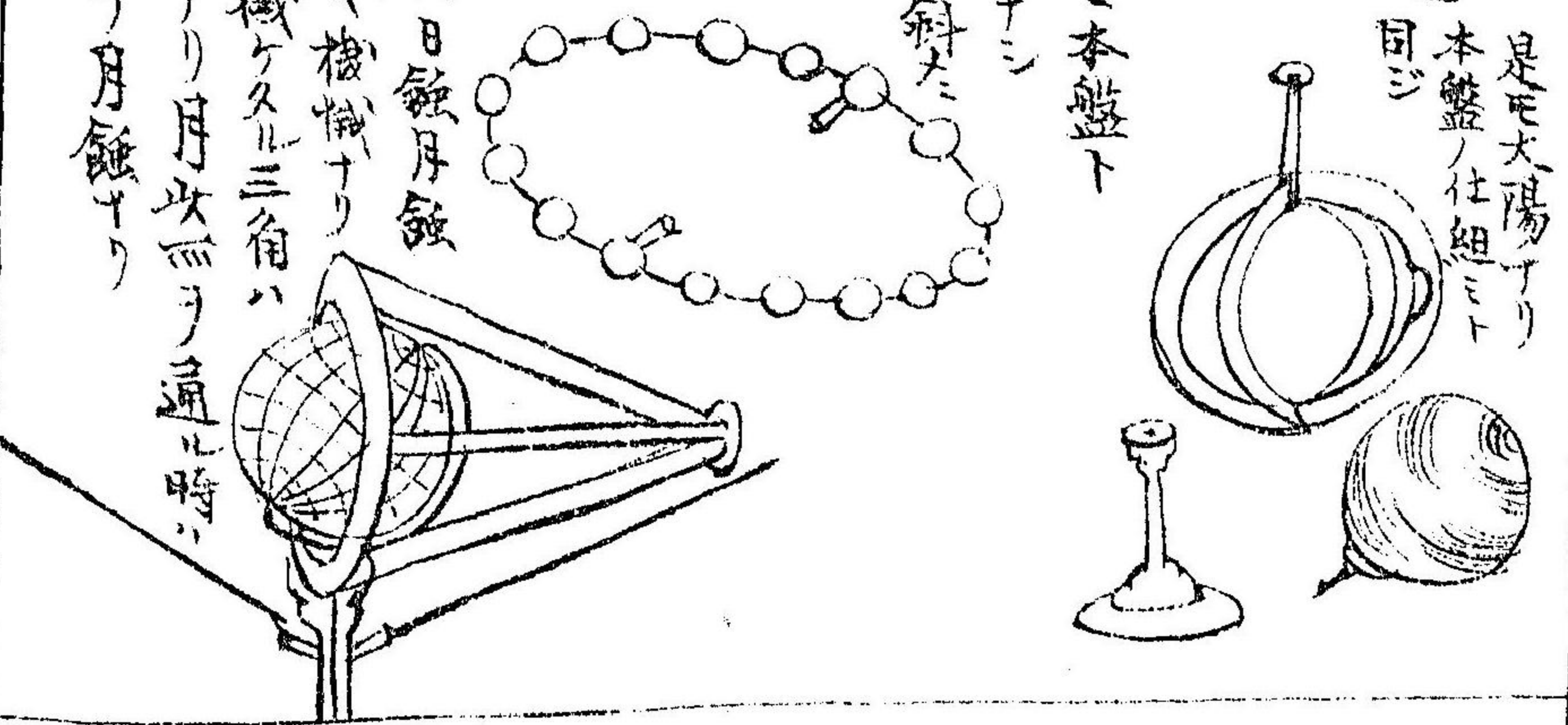
次ノ輪モ本盤ト
 カワルナシ

矢張り斜メ
 カケバシ

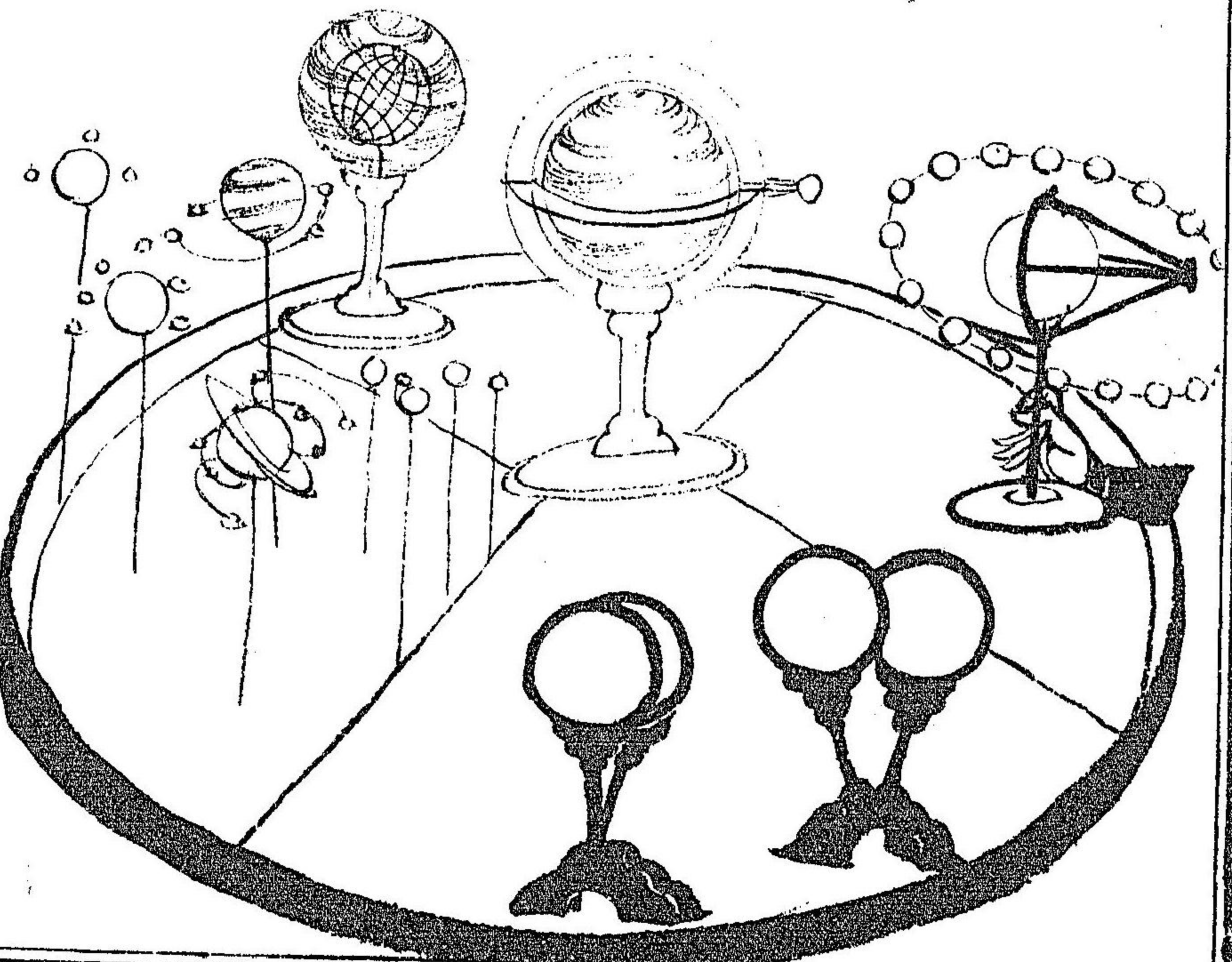
地球ハ日銀月鏡

ヲ持テ平檢檢ナリ

且地球ハ機ケタル三角ハ
 地ノカゲナリ月ハ此ヲ通ル時ハ
 光ナクミテ月鏡ナリ

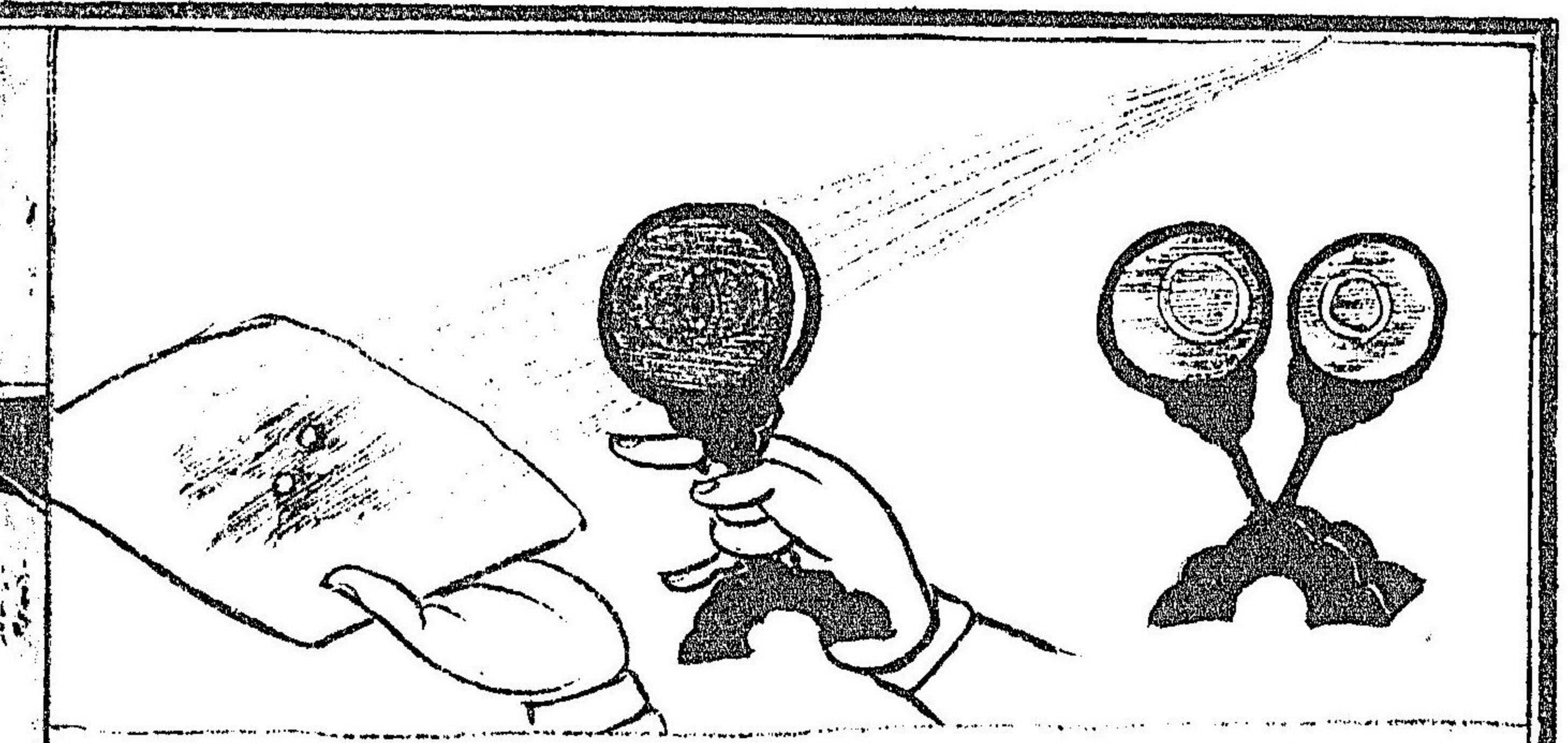


中ノ真ハ太陽ナリ輪ノ針先ノ小丸ハ太陽漸クツマリテ
 小サク見ルサマナリ地球儀ノ管ヲ圖ノ如ク持テ左ノ廻シテ月ハ
 日光ヲサハキル時ハ日鏡ナリ且地ノカゲヲ通ル時ハ光リナ
 クシテ月鏡ナリ

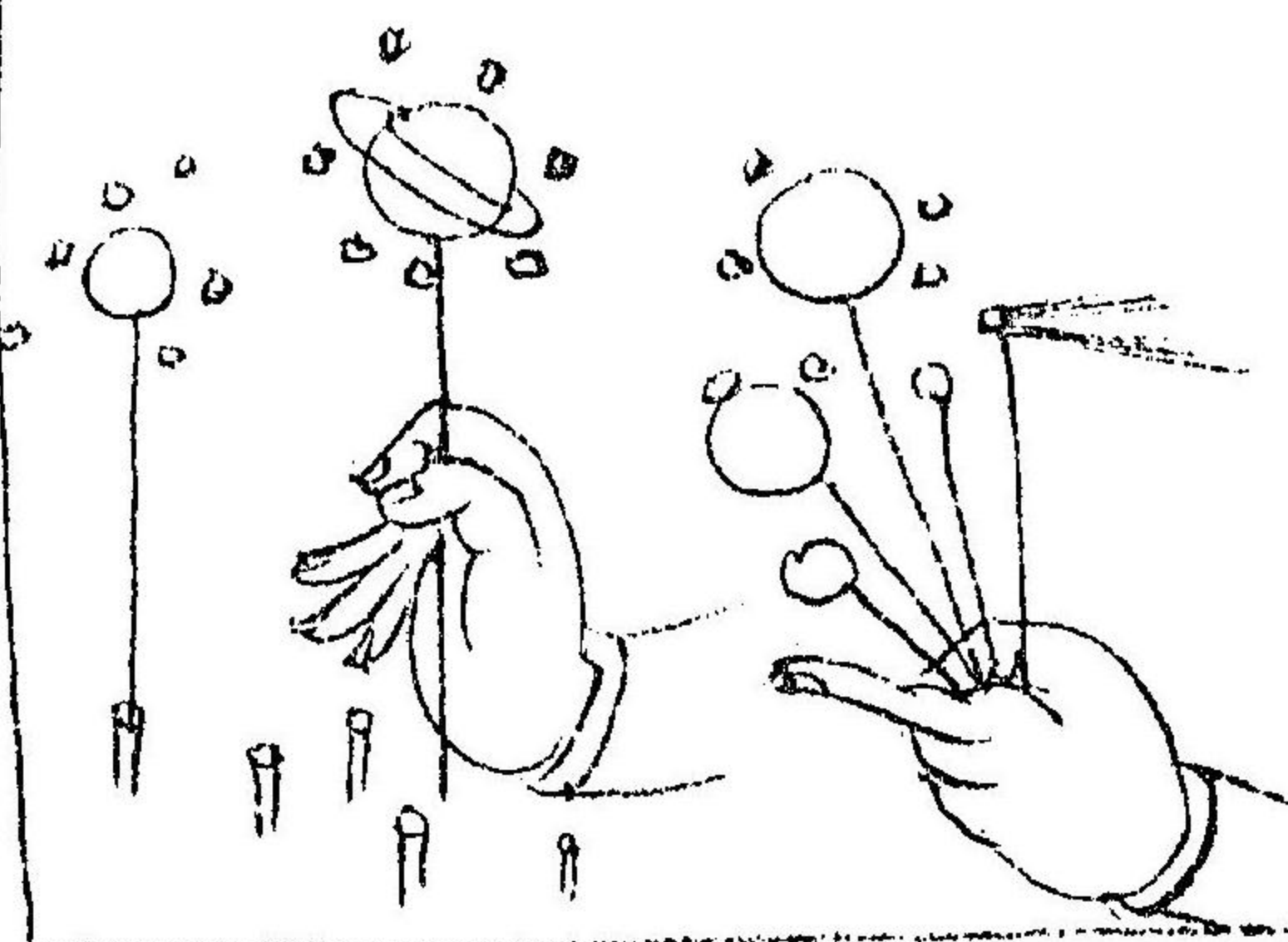


○日月夜多に見えしノ理合ハ天覆地安モ蓋ク有レハ晝夜ノ定メ空ニルモ次
 除ミテハ寒ニ元甚シク取ミ鏡ノ如ク凝リ結ミテ日輪ノ層ノカゲ
 榮輪モアラハク一有り此時空ニ氣流動ミテ輪ト輪ノ並ヒ重ル
 有レハ其重リ合タル物各一際光明ミテ實ノ日輪ノ如キカゲ
 ノ夜多に見ル一有りト其様童蒙ニハ悟リカタキ一ナレハカラスコ
 旭ノ輪層ヲ夜多ニ圖ニ二枚ト元ニシメテ扇ノ如ク展キタル時ハ夜
 多ノ日ノ層ヲナシ且空ニルノ流動ヲ示ミテ重ネ合セ是ヲスカ
 シテ見ル時ハ夜多日輪ノ如キ光リヲ見ル一ノ月ヲ夜多に見ルノ
 機軸モ取扱方猶斯ノ如シ

但機軸ハカラスヲ以テ造リ輪ハ繪具ヲ以テ添タルハ其重リ合



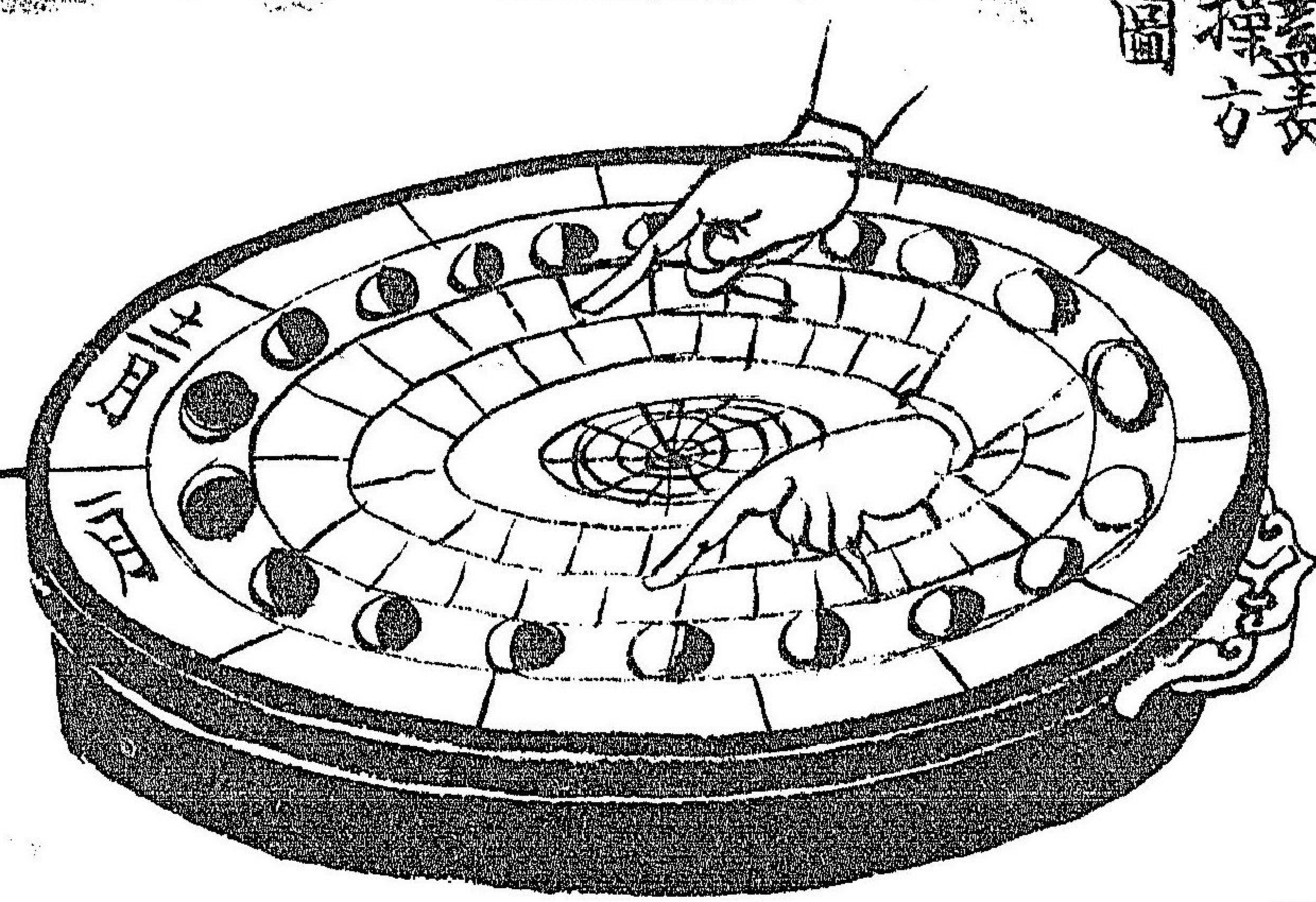
タルハ各一四角ヲナスベシ然レ氏此器晴天ニ持
 出テ下ニ物ヲ置キ其間凡晝夜モハテ日光
 ヲ通シ見ル時ハ其影真丸ヲナシテ移ル物ナリ
 都テ物影ハ遠ク離ルニ随テ角ト菱ノナクテ
 ル物ニテ雙ハ四角ノ行燈ト輪モ遠ク隔テテ
 見ル時ハ其影光丸方ヲナスベシ軒或ハ板ヒ
 カシ杯ニ三角四角ノ破レ有りト雖モ日光其宛
 ヲ貫キ通シ壁タニニ等ニ移ル時ハ矢張り
 角ヒニナク丸方ニ影ノ指物ナリ



ハ尚天象諸星ノ運動向且空中諸星及不思儀ヲモ問フベキニ
ヨリテ本盤測家造ノツビテ蓋盤ノ表裏ニモ天象理源ノ大略ヲ
圖ニ器概ヲソヘテ疑惑ヲ解キ易カラセシムル物ナリ

○諸遊星ノ遠近一周年ノ大小年限等ハ古今ノ諸家ノ
アラハセル難ク多クモモ惑ニク設テ有レハ
其ハ其煩ニキテ層キテ順次ノ建方ヲ圖
スルノミ重業ホ本盤ノ地球儀廻轉ノ仕立
ヲ自在ニテ四元ノ寒暑昼夜ノ長短自
轉公運等ヲ一通リ了解セルノ際ニ至ツテ

蓋盤
操方
圖



○叔月ハ二十九日余ニミテ地球ノ外面ヲ
一周スルナリ然レニ太陽層ハ二十日或ハ
二十日モ有リテニ廿日モ余ルナリ依テ其
月大ナラハ廿九日三十日ニ至日ト小ニ至ニテカヒテ有ル通リカソヘテ其
次ノ一日ニ當ルハ大キク書テ有ル一日ノ
而ラエツリ懸シテ見レハ來月ハ何日ガ
満月ナルヲ知ルナリ然レモ二十日
余ト云テ少シクマリヲ扱ヘテ有レハ
ニテ廿日ニハ三十日トナルト有リ是ニテ
朕ハ其時ハ又一日先ハ操テ見ルト能ク
層面ニアフナリ且日曜日ハ一ヶ月面

